

第5号様式（第7条関係）

会議録

| | |
|---------------------------|--|
| 会議の名称 | 令和6年度 第3回清須市生涯学習推進計画策定検討会 |
| 開催日時 | 令和6年11月12日（火） 午前10時～午前11時30分 |
| 開催場所 | 清須市役所南館 3階 大会議室 |
| 議題 | 1. あいさつ 2. 議題 (1) 清須市生涯学習推進計画（第2期）案について (2) 清須市生涯学習推進計画（第2期）（案）に係るパブリック・コメントの実施について (3) その他 |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 「清須市生涯学習推進計画（第2期）案」 ・資料2 「清須市生涯学習推進計画（第2期）の策定に係るパブリック・コメントの実施について」 ・別添1 「清須市生涯学習推進計画策定検討会委員名簿」 ・別添2 「清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱」 ・別紙1 「清須市の生涯学習に関するアンケート調査報告書（抜粋版）」 ・別紙2 「第3章 基本理念案（生涯学習課提案）」 |
| 公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由) | 公開 |
| 傍聴人の数 (公開した場合) | 0人 |
| 出席委員 | 大村委員、丹羽委員、佐藤委員、野呂委員、富田委員、梶浦委員、吉田委員、小出委員 |
| 欠席委員 | 和田委員、河合委員 |

| | |
|-------|--|
| 事 務 局 | 天埜教育長、石黒教育部長 大沼課長、高山スポーツ課長、藤田課長補佐、柴垣補佐、鈴木生涯学習係長、葛西文化振興係長、鈴木スポーツ係長、宮川主事、吉山主事 |
|-------|--|

会議の経過

1. あいさつ

天竺教育長よりあいさつ

大村会長よりあいさつ

2. 議題《意見の要旨》

(1) 清須市生涯学習推進計画（第2期）案について

大村会長 それでは議題（1）「清須市生涯学習推進計画（第2期）案について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料に基づき説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

大村会長 「対面式の講座や教室への参加は減少している」というところは、コロナ禍では対面の事業の参加が減ったものの、回復していくということが言われているため、「減少している」という評価が正確な評価であるかは疑問です。

(株) 創建 会長のご意見のとおり、コロナ後の対面学習の回復という視点もあります。一方で、前回調査が平成25年であるため、10年の間には社会的なデジタル化が進んでいることから、対面式での学習の回復に加えて、インターネットを活用した学習もより加速していくと考えられます。

大村会長 今回の文章では、対面の講座や教室の人数が減っていると読み取れてしまうため、講座の開催状況との関係があると思いますので、表現をご検討いただきたいです。

大村会長 アンケート報告書の本編が60ページ以上あるということで、印刷は難しいのかもしれませんが、本編と比較しないと内容が理解できないため、委員には本編をいただきたいと思います。

大沼課長 アンケート報告書の本編は、今後配布する予定のため、ご確認いただきたいと思います。また、大村会長から指摘のあった報告書の表現については、公表有無にかかわらず、検討したいと思います。

梶浦委員 生涯学習関連施設の利用に際して4割以上が特に困っていないという結果は、「利用しやすい環境にない」や「施設の情報発信不足」、「利用予約のハードルが高い」などの結果はなかったのでしょうか。

| | |
|-------|---|
| 大沼課長 | アンケートは、市民の生涯学習・スポーツに対する思い、生涯学習関連施設の利用方法などを踏まえた上で、どのような傾向があるのかを把握する目的がありました。アンケートの結果の内容等を踏まえて今後の方向性などに記述をしています。 施設の利用のしやすさや情報の発信方法では、施設予約システムの導入や平日の抽選予約の解消を検討しているため、その部分につながるができるアンケート結果であったと認識しています。 |
| 大村会長 | 多くの人が生涯学習関連施設を利用する上で特に困っていないことがうかがえるという評価が、本当だろうかというところが少し気になります。 男性の6割、女性の5割が利用していないことについて、利用率は低いという印象があり、どうして利用していないのかは疑問に思います。 性別や世代別で違いが出るのかを示してもらえるといいと思います。働く人の利用がどの程度あるのか、性別との関連など、現役世代が施設を利用できる状況にあるのかどうかは気になります。 |
| 事務局 | 分析はしているものの、資料が手元にないため、後日ご報告します。 |
| 大村会長 | 特にないと回答している人は、利用している人の4割なのか、市民全体の4割なのかは気になります。利用できていない方たちのニーズを捉える必要があると思うため、留意していただきたいです。 |
| 事務局 | 資料1に基づき説明（修正箇所、基本理念） |
| 大村会長 | 基本理念について、前回会議の意見を踏まえて、事務局から訂正の提案がありましたので、ご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 委員 | （意見なし） |
| 大村会長 | 事務局提案で進めてください。 |
| 事務局 | 資料1に基づき説明（第4章） |
| 丹羽副会長 | 基本目標3施策の方向1の「文化芸術活動の充実」の「充実」という言葉に引っ掛かりを感じます。内容を踏まえると、「継続」または「推進」という言葉が適切ではないかと思しますのでご検討をお願いします。 |
| 大沼課長 | 基本方針1にも「充実」という文言があるため、少し紛らわしいこともあり得るため、「継続」や「推進」がより適切かと思います。 |

再度事務局で検討し、公表案にしたいと思います。

小出委員

基本方針3施策の方向2「歴史や文化の継承」の取組内容で「文化財講演会の啓発」とありますが、もう少し具体的に「歴史文化遺産に関わる講座を実施して、歴史資料の公開や展示を行います」というようにするのがいいと思います。

また、清須市の図書館に歴史資料展示室があり、様々な文化財が展示されています。ここは基本目標4とも関わりがありますが、情報をこれまでは市のホームページや案内パンフレットで周知されてきましたが、スマートフォンやインターネット、パソコンにより情報を早く知りたい人が増えているため、情報の発信や提供はデジタル化を進める必要があるのではないかと思います。

歴史文化およびその資料収集や保存、発信するための取り組みをデジタルデータベース化して、目に見えるようにしてほしいと思います。

このようにデータベース化したものを、清須市の観光協会と提携し、文化財を紹介するアプリで、身近なまちの文化財を見える化して紹介することも希望します。

また、文化財や歴史文化を未来に継承する拠点が必要ではないかと思うため、将来的には専門員の配置を受けて、歴史博物館を構想して整備を進めてもらえたらありがたいと思います。

歴史文化の継承で大事なものは、継承していく子どもたちのため、工夫して取り組みをしてほしいです。稲沢市や北名古屋市には文化財愛護少年団という組織があり、小中学生の興味を持たせてくれることで継承したいと思っていますが、どのように進めるかを方向性の中で示していただければありがたいです。

大沼課長

歴史文化の継承の部分につきまして、より具体的な表記をすることのご意見御要望をいただきました。今回は個別具体の記述をしていない部分があることを、委員の皆様もお気づきかと思います。細かく書きすぎてしまうと、他の展開をしづらくなることもありますので、表現など工夫していきたいと思っています。

子どもたちの育成の方向性については、現在取り組みを始めている部分について記述をしています。

37頁の取組例にある、校外学習等でのお囃子教室や山車・からくりの見学などを通じて学ぶ機会や、町内によっては、他の地区から興味を持って練習に参加する、新たな担い手も参加している報

告も受けていることから、今後も継承に向けて取り組んでいきたいという記述をしています。

情報発信については、SNSを利活用することで情報の伝達がスムーズになり、広報が届く前に情報を届けられる利点もあるため、積極的に活用をしていきたいです。

今までできていなかった部分は、積極的に生涯学習スポーツ分野でも活用していきたいと考えています。今回の計画では、大きな表現で記載しておりますが、このような思いで、これから取り組んでいきたいと考えています。

小出委員

子どもたちへの歴史文化の継承については、学校教育との連携があるため、少し時間がかかるとは思いますが、学校への働きかけもお願いしたいと思えます。

取組例が年に1、2回の事例が多いと思えますが、継続して年間活動できる手立てがないか、検討していただきたいです。

大村会長

ご意見にあった歴史博物館の計画はあるのでしょうか。

大沼課長

現時点での構想はありませんが、清須市は歴史と文化に織りなされた町ということで、今後の検討課題としたいと思えます。

大村会長

歴史や文化の拠点が必要だということは、非常に大事な意見だと思えます。すぐに施設が立ちあがるのは難しいですが、既存の社会教育施設で対応するなどの工夫があり得ると思えますので、お考えいただければと思えます。

また、先ほどの愛護会は近隣の自治体では行政がしていますか。民間団体でしょうか。

小出委員

行政と学校の先生方です。学校の多忙化の問題があるため、すぐにはできないと思っています。学校教育との連携でどのように進めていくかは今後の課題だと思えます。

大村会長

継承の具体的な施策は、大事な提案だと思えますので、ご検討いただきたいと思えます。

関連して、コミュニティスクールと地域学校協働については基本目標4の推進体制の充実に入っていると思えますが、取り組みの中身としては、基本目標2に入れていただいてもいいと思えます。成果指標には学校支援ボランティア登録者が入っているものの、説明にはありません。

そのため、学校をプラットフォームにして社会教育を推進していく組織が地域学校協働本部になると思えます。この機能を充実さ

せると、今までは読書や読み聞かせ、防災が盛んであると聞いていましたが、地域の歴史と文化についても地域学校協働の中で取り組んでいくことは可能かと思いますので、推進体制も大事ですが、基本目標2にも施策の展開まで書いていただいてもいいのではないかと思います。

大沼課長

地域学校協働活動は主に読書を中心とした活動をしておりますが、今後は様々なジャンルでのご協力も期待される組織に育ちつつありますので、基本目標2にも追加するよう検討したいと思います。

吉田委員

第4章を見ていて、学習の機会は大事だといつも思います。「学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。」というのはとても大事だと思いますので、他に何があるのか気になることと、もう少し載せてもいいのであれば、2つ3つ載せていただいたら良いのではないかと思います。

また、基本目標2施策の方向1の取組例にある「生涯学習関連団体による活動報告会の実施」というのは、どういったものでしょうか。

大沼課長

活動報告会の実施は、市民協働との連携を進めている中で、様々な団体等が地域の課題や活動について展開をどうするのか、所管課の市民協働の担当からも意見はいただいていたため、生涯学習課やスポーツ課だけでなく、様々な形で活動している方が、どのような課題を持って、どのような成果を得ているのかが伝わる機会をつくりたいという思いがあり、記述をしました。

アンケート結果の抜粋についても、どこまで主な内容という形で記載ができるかは事業者と相談をしながら公表案に展開できるのであれば、お示ししたいと思います。

大村会長

基本目標3施策の方向3にある「地域資源」という言葉は、地域づくりにはよく使われる言葉ですが、市民にはあまりなじみのある言葉ではないと思います。また、すでに地域資源として共通の理解があるものにくわえ、地域の魅力や強みがあると思いますので、地域資源を発見して活用するという施策の方向がふさわしいのではないかと思いますので、ご検討ください。

大沼課長

「地域資源」は、何のことか、見た方が分からないこともあり得るため、記述について検討して公表案にまとめたいと思います。また、活用だけでなく発見という視点も、さらに地域を深堀する

| | |
|------|---|
| | <p>ことにつながりますので、うまく文章に取り込めればと考えています。</p> |
| 梶浦委員 | <p>取組例の「・」と文字の間隔がページによってバラバラであるため気になります。</p> |
| 事務局 | <p>公表案にする時には、同じ間隔で記載できるように訂正したいと思います。公表案にする前には、再度確認を行いたいと思います。</p> |
| 梶浦委員 | <p>グラフについて、32頁のグラフにはN数が入っているが、38頁にはN数が入っていません。年齢的にばらつきがあつて高齢になるほど紙媒体の利用傾向が高くなるとなっているが、実際にどのくらいの年代のパーセンテージでその結果になったのか気になります。</p> <p>また、「インターネット(携帯電話・スマートフォン)」「インターネット(パソコン)」について、アンケートをしたと思いますが、本当に携帯電話でインターネットをしたのか、気になります。インターネットという括りであれば、「インターネット(携帯電話・スマートフォン)」38.4%、「インターネット(パソコン)」22.5%で合わせて60.9%になります。紙媒体とインターネットという括りであれば、分かりやすいのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>「インターネット(携帯電話・スマートフォン)」「インターネット(パソコン)」が分かれているのは、前回行ったアンケート調査の選択肢をそのまま掲載しているためです。N数については、掲載をしたいと思います。</p> <p>また、アンケートの示し方ですが、スペースの都合によりすべての選択肢を載せることは難しいため、上位を載せていますが、記載方法については改めて検討したいと思います。</p> |
| 大村会長 | <p>38頁のグラフについては、複数回答のため、数値を足すことはできないと思います。また、上位を掲載することは、ページの都合もあると思いますが、ややインターネットを強調する表現になっていることは気になります。レイアウトについては再度検討いただき、全部載せた方が理解できるのではないかと思います。</p> |
| 富田委員 | <p>基本目標1施策の方向1のグラフに「費用がかかる」とありますが、無料なら学習するのか、500円なら学習するのか、学習にあたってのお金も問題も知りたいと思います。</p> |
| 大沼課長 | <p>行政が行う講座のほかにも、一般のカルチャースクールや地区での習い事も含んだ形の設問であったと思います。そのため、費用</p> |

がかかるものから、無料のものまでであると思います。その点で、全般として、学びを行う上での費用がかかるという意見を持つ人がアンケート上では多かったのだと思います。

学校教育の範囲においても様々な支援策がありますが、生涯学習は様々な分野で取り組む人が多いため、内容によって費用がかかる、かからないという意見だと認識しています。

大沼課長

中学校の部活に関しても議論があると思います。部活であれば無料であったのが、地域のスポーツクラブや芸術の習い事になると非常に高額になる場合があります、子どもたちの地域での学習環境の問題においても、費用面が課題になっていると思います。

「費用がかかる」は最も回答が多いため、その対策も考えていく必要があると思います。

大村会長

それでは、概ねご意見も出そろったかと思います。事務局には、本日のご意見を反映できる部分は、計画案としてまとめていただくことで、委員の皆様、よろしいでしょうか。

(委員 了承)

大村会長

ありがとうございます。事務局は、委員の皆様のご意見を計画案に反映するよう努めてください。

(2) 清須市生涯学習推進計画（第2期）（案）に係るパブリック・コメントの実施について

大村会長

それでは議題（2）「清須市生涯学習推進計画（第2期）（案）に係るパブリック・コメントの実施について」事務局から説明をお願いします。

事務局

資料2に基づき説明

大村会長

要望として、閲覧場所に学校施設を入れていただくのはどうでしょうか。こども基本法において、子どもに関わることは子どもの意見を聞かなければならないとなっているため、学校で子どもたちやPTAがそれを見ることができるといいと思います。学校に配置することで、学校において、今後の生涯学習施策に参加する雰囲気が醸成されると思いますが、いかがでしょうか。

大沼課長

パブリック・コメントの提出場所、閲覧場所は、資料にある公共施設を中心とした意見募集を行う形になっています。

学校については想定していませんが、広報やホームページでお知

| | |
|--------|---|
| | <p>らせをする時に子どもの意見をいただき、適切に反映できるということであれば、こども基本法の趣旨に沿うと思います。そのため、閲覧場所は公共施設13施設としたいと思います。</p> <p>大村会長 小中学校だとタブレットを利用しているため、タブレット上でパブリック・コメント実施のお知らせをすることはできるのでしょうか。</p> <p>大沼課長 タブレットを通じて案内ができるシステムがあるため、学校教育の担当と相談をして、対応できるかどうか検討したいと思います。</p> <p>事務局 パブリック・コメントで公表する案については、本日いただいたご意見を可能な範囲で反映し、内容を大村会長・丹羽副会長にご確認いただいた上で、公表案とすることで、事務局に一任いただければと考えております。</p> <p>大村会長 それでは、パブリック・コメントについて、事務局案により、進めてもらうということによろしいでしょうか。</p> <p>(委員 了承)</p> <p>(3) その他</p> <p>大村会長 それでは議題(3)「その他」事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 次回会議日程を連絡</p> <p>閉会</p> |
| 会議の結果 | 審議に関する事項はなし |
| 問い合わせ先 | 教育部生涯学習課 052-400-2911 (清須市役所南館1階) |